

「後向き観察研究：80歳以上高齢者の婦人科手術における 臨床的検討についてのご説明」

● はじめに

昨今の高齢化に伴い、婦人科治療を必要とする80歳以上の患者さんが増加しております。高齢者では合併症を有していたり、心肺機能が低下していることが多く、婦人科手術を必要とした場合に、手術のリスクをあらかじめ評価する必要があります。

● 研究対象

産婦人科において2014年1月1日から2017年12月31日に婦人科手術加療を受けられた方を対象にしています。予定症例数は80症例です。

● 研究内容

本研究では、術前の患者さんの病歴と身体機能、採血検査から臨床評価を行い、手術の合併症との関連性を明らかにします。なお、この研究を行うことで患者さんに通常診療以外の余分な負担は生じません。

● 利用する情報、検査項目

本研究で検討する検査項目は以下の通りです。

- ・ 身体所見（身長、体重 等）
- ・ 背景（年齢、活動性、既往歴 等）
- ・ 画像所見（単純X線写真、心電図、肺機能検査、エコー、MRI 等）
- ・ 臨床検査（赤血球数、白血球数、BUN、血清クレアチニン 等）
- ・ 疾患名
- ・ 手術所見（術式、手術記録）
- ・ 術後経過
- ・ 合併症有無

● 患者さんの個人情報の管理について

本研究では個人情報の漏洩を防ぐため、個人を特定できる情報を削除し、データの数値化、データファイルの暗号化などの厳格な対策を取っています。本研究の実施過程及びその結果の公表(学会や論文等)の際には、患者さまを特定できる情報は一切含まれません。

● 研究期間

(病院長承認日)から 2018 年 12 月 31 日まで

● 医学上の貢献

研究成果は、高齢で婦人科手術を必要とした患者さんに対し、術式決定や周術期管理の一助となり、患者さんの治療と健康に貢献できます。

● この研究に診療データを提供したくない場合の措置について

あなたに関わる研究結果は破棄され、診療記録なども、それ以降は、研究目的に用いられることはありません。ただし、ご連絡をいただいた時点ですでに、研究結果が論文などに公表されている場合や、研究データの解析が終了している場合には、解析結果等からあなたに関するデータを取り除くことができず、研究参加を取りやめることができなくなります。

● 問い合わせ先

〒060-8543 北海道札幌市中央区南 1 条西 16 丁目 札幌医科大学附属病院
産婦人科

本院研究責任者 寺本瑞絵 講師

平日 TEL (011)611-2111 内線 33680 (教室)

休日・時間外 TEL (011)611-2111 内線 33750 (6 階北病棟)